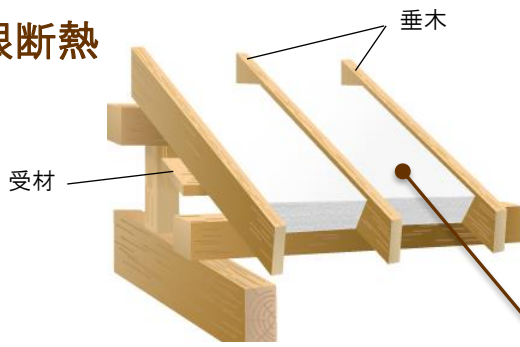


羊毛断熱材 ウールブレス 施工マニュアル



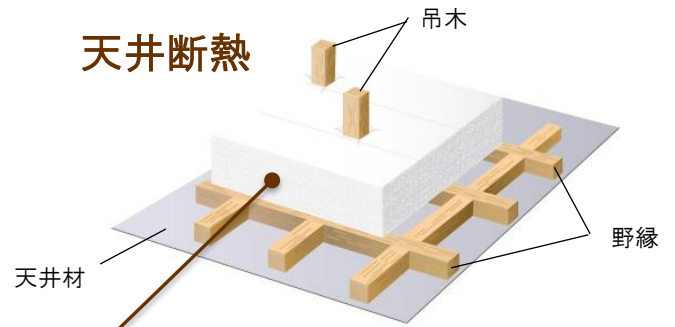
ウールブレスの施工部位

屋根断熱



屋根垂木との間に隙間を作らないように充填し、垂木の下面にバラ板等の受材で垂れないようにして下さい。

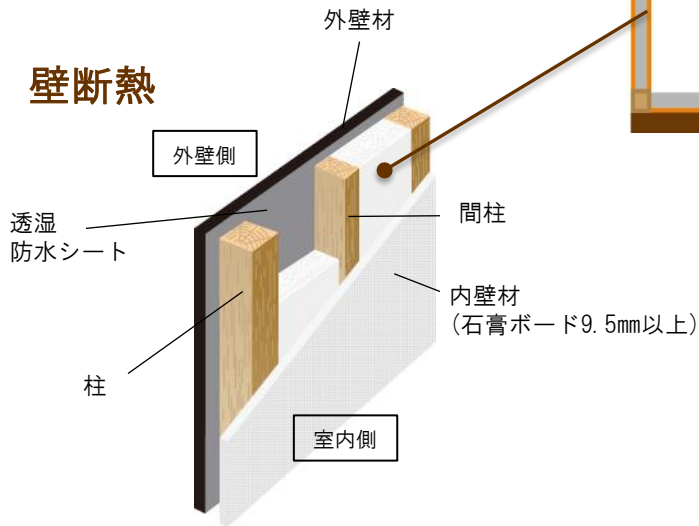
天井断熱



野縁の上にウールブレスを隙間なく敷きつめて下さい。

⇒7ページ

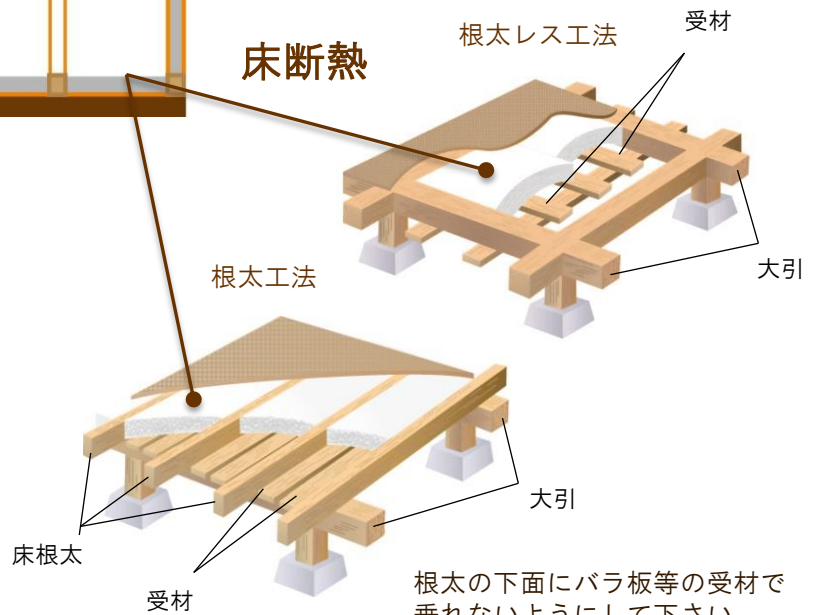
壁断熱



タッカー（ステープラー）で、上部から留めていき、柱、間柱間で留めて下さい。

⇒3,4ページ

床断熱



根太の下面にバラ板等の受材で垂れないようにして下さい。

⇒6ページ

施工に必要なもの



コンベックス



手袋



ヘルメット



裁ちばさみ

(※カッターでは切れません)



タッカー

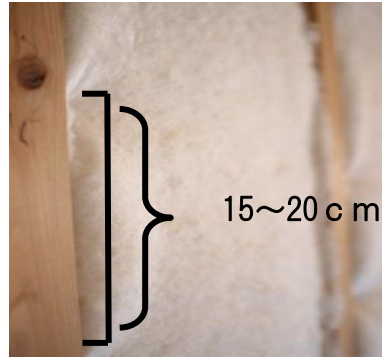
※ウールブレスは羊毛繊維が強力ですので、電動ドリル等であけようとすると、機械が破損する恐れがあります。

基本の施工

タッカーの留め方



①ウールプレスの表面をつまみ、留め付けます。



②タッカーの間隔は15cm~20cmです。

悪い施工例



奥側に押し込まれていて室内側と仕上材の間に隙間が発生。



シワになっている。



隙間だらけの床下

(財)建築環境・省エネルギー機構発行の「住宅の省エネルギー基準の解説」の施工に基づいて施工して下さい。

ウールプレスの取り扱い上の注意

- 保管は雨水に接する場所は避けて下さい。
また、ウールプレスを積み重ねたり、重量物の下積みしないで下さい。
- 直射日光はなるべく避けて保管して下さい。
- 圧縮梱包しておりますので、所定の厚みに戻るのに数日必要です。

お届け時



開封後(日数経過)



壁への施工

(1) 基本の壁



① 充填する箇所を採寸します。



② 採寸した寸法より200~250mm長めにカットします。
(※) (折しろ部分を作る)

(※)ウールブレスは横方向は手でカットが可能です。ちくちくしませんので素手でも触って頂けます。
カットしにくい場合は刃の長い裁ちばさみをご利用ください。



③ ウールブレスの上端を折り曲げます。



④ 折り曲げた状態のまま上部に押し当てて充填します。



⑤ 上部はしっかりと留め付けて下さい。



⑥ しわと隙間ができないよう注意しながら充填していきます。



⑦ 片側ずつ15~20cm間隔で留めていきます。



⑧ 下部 折しろ部分を折り込むように納めます。



⑨ 折り込んだ部分をタッカーで固定して完了です。



施工完了

(2) 筋交い



①壁の高さを採寸し、ウールプレスを寸法に合わせてカットします。



②筋交いの裏に入れ込んでウールプレスを充填します。



③両サイドをタッカーで固定します。



④筋交いに添って切りこみを入れます。(5cm程度)



⑤切り込んだ部分をタッカーで固定します。あとは「壁への施工・基本の壁」と同様に施工します。



施工完了

(3) コンセントボックス周りの施工



①コンセントボックスの高さに添って切り込みを入れます。



②切り込んだ部分をボックスの後ろに回します。ボックスの後ろに隙間ができないよう、注意して下さい。



施工完了

(4) サッシ周りの施工



①ウールブレスの端切れを用意します。

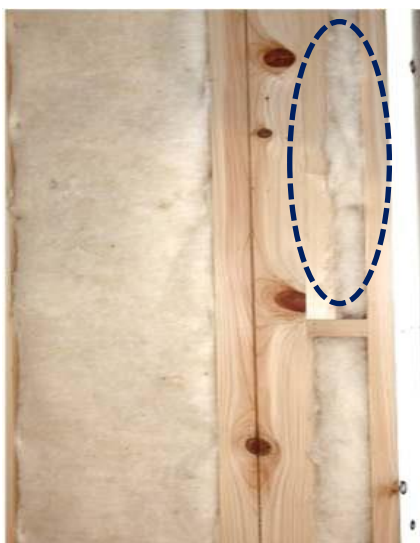


②隙間に埋めていきます。



施工完了

(5) その他 端材の有効利用



ONE POINT ADVICE



ウールブレスが余ったら…

ウールブレスの端材は全て有効活用して下さい。

間仕切りやあらゆる隙間に入れて頂くことで、断熱効果をさらに高めることが可能になります。

さらには施工完了後のゴミも減らせて一石二鳥のお役立ちです。



床への施工

(1) 根太レス工法



① 土台・大引の間にバラ板等の受材を施工します。

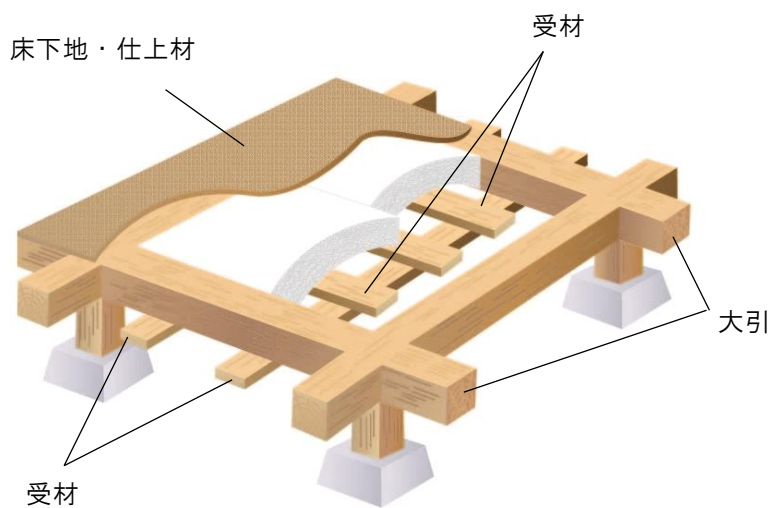


② さらに受材をこのように配置します。



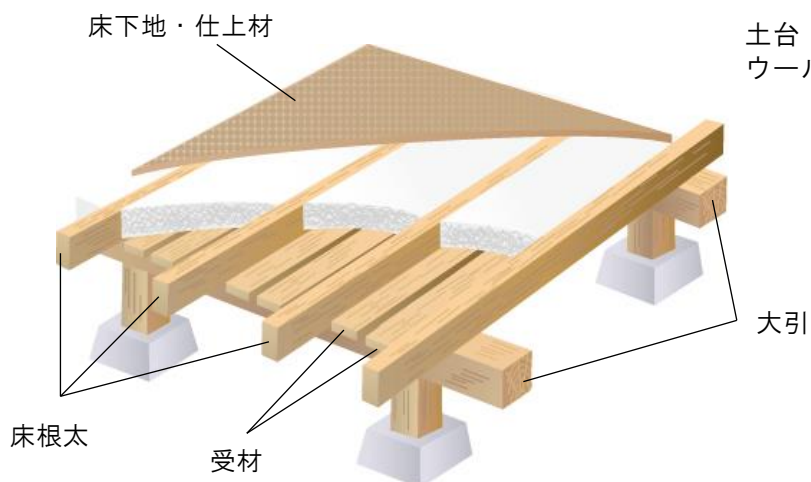
③ ウールブレスを敷きこんで施工完了です。

根太レス工法 イラスト 図解



(2) 根太工法

根太工法 イラスト 図解



土台・大引の上面に図の様に受材を施工し、ウールブレスを敷きこんで施工完了です。

天井への施工

(1) 基本の天井



① 採寸・カット済みのウールブレスを天井に充填します。



② 隙間やたるみができないように注意して押し込んでいきます。



施工完了

(2) 吊木周り



① 吊木と干渉する部分はウールブレスに切り込みを入れます。



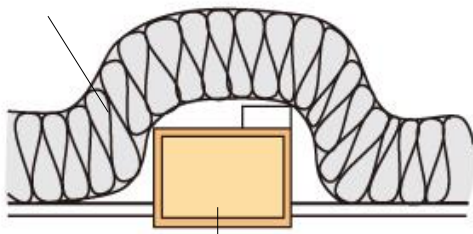
② 吊木にウールブレスを巻き込みます。隙間を生じさせないように注意して下さい。



施工完了

(3) 照明(ダウンライト)

ウールブレス



S型埋め込み照明器具

ダウンライトを設ける場合はS型埋め込み器具を使用して下さい。
その他のダウンライトの場合は照明にウールブレスが接しないよう、その部分をカットして施工して下さい。
※詳しくは各メーカーのカタログを参照してください。



株式会社 アイティエヌジャパン

〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町728-1三陽ビル2F

FAX : 0743-59-0432 Email: itnjapan@itnjapan.com

▶お問い合わせ・ご不明な点こちらまで



0743-59-0569